

【がん種】 [非小細胞肺癌](#)
 【レジメン名】 Sotorasib
 【登録番号】 100265
 【1コースの期間】 連日
 【投与間隔調整規定】 なし
 【総コース数】 進行・再発:PDまで
 【催吐性リスク】 最小度～軽度:ルマケラス
 【抗がん剤の組織障害性】 -
 【投与量に制限のある薬剤】 なし
 【主な有害事象】 AST増加、ALT増加、疲労、間質性肺炎、悪心、嘔吐、下痢AST増加、ALT増加、疲労、間質性肺炎、悪心、嘔吐、下痢

 【必要な検査】 一般採血
 【根拠論文】 N Engl J Med 2021;384:2371-2381.

 【点滴の時間】 -
 【その他】 対象患者:KRAS G12C変異+

Rp	薬剤名	量	投与方法	投与時間	投与日	
					連日	
1	ルマケラス錠	960 mg/回	内服	1日1回食後	○	○

【Sotorasib減量・休薬・中止基準】

ルマケラス 添付文書: 2022年4月改訂(第2版)

用量レベル	投与量
通常量	960mg/回
1段階減量	480mg/回
2段階減量	240mg/回

副作用	Grade	処置
肝機能障害	症候性のGrade 2のAST増加若しくはALT増加 or Grade 3以上のAST増加若しくはALT増加	Grade 1以下又はベースラインに回復するまで休薬し、回復後は1段階減量して投与再開できる。
	正常値上限の3倍を超えるAST増加又はALT増加、 かつ正常値上限の2倍を超える総ビリルビン増加	本剤の投与を中止する。
間質性肺疾患	全Grade	本剤の投与を中止する。
上記以外の副作用	Grade 3又は4 ※悪心、嘔吐、下痢は 適切な処置を行っても症状が継続する場合	Grade 1以下又はベースラインに回復するまで休薬し、回復後は1段階減量して投与再開できる。